

妙高市のゼロカーボンパーク登録(全国第4号)

1. 妙高市と妙高戸隠連山国立公園

- ✓ 妙高市は、妙高戸隠連山国立公園の北部に位置し、妙高山や火打山、高妻山などの日本百名山にも数えられる名峰を有し、スキーをはじめとする様々なレジャー、7つの温泉地を有する妙高高原温泉郷を求めて多くの利用者が訪れる地域。
- ✓ 新潟県で3番目にゼロカーボンシティを表明(R2.6)し、「生命地域妙高ゼロカーボン推進条例」を施行(R3.4)。
- ✓ 内閣府の令和3年度「SDGs未来都市」に選定(R3.6)



2. ゼロカーボンパークに向けた妙高市の取組

①脱炭素に向けた再エネの導入・省エネの推進

- ・令和4年4月にグランドオープンする妙高高原ビジターセンターをはじめとした公共施設のほか、観光関連施設や住宅等において再エネ電力の自家消費や導入を推進
- ・ZEB化・ZEH化やEMS等による省エネの取組を促進
- ・エコツーリズムや自然環境・生態系等の定期的なモニタリング、森林整備等の保全活動を行い、適正に管理・保全された自然環境によるCO2吸収量を確保



妙高市のゼロカーボンパーク登録(全国第4号)

2. ゼロカーボンパークに向けた妙高市の取組

②プラスチックごみ削減対策

- ・ウォーターサーバーを公共施設7カ所に設置し、マイボトル運動を推進(令和3年度中に設置)
- ・宿泊施設での3Rを推進し、ごみ減量と資源循環を推進するとともに、プラスチック製品の代替素材製品への転換などによるワンウェイプラスチックの使用削減を推進



③自動車・交通分野におけるCO2排出削減

- ・公共交通や二次交通において、デマンド化を推進し、利便性向上とCO2排出削減を図るとともに、技術開発の進捗状況にあわせてEV/PHEV/FCV等の導入を促進



3. 環境省における対応

- ✓ 現地の地方環境事務所の伴走支援や、ワークショップ開催等による計画策定支援、温泉供給設備の改修支援等により市の脱炭素化の取組を後押し